



あゆみだより

先だって、あいち障害者センター理事長の近藤直子先生のお話を聞く機会がありました。その中で、乳幼児期にふさわしい「子どもらしい暮らし」の保障を！というお話がありました。園では好きなこと、わくわくすること、楽しいことをお友達と一緒にたくさん体験できること、家庭では安心して過ごせることが大切です。甘えん坊でマイペースな姿が家庭では当たり前です。ご家族が大好きだからこそ、こうした姿をみせてくれます。たくさん甘え、お手伝いをしてくれたときは「ありがとう」と伝え、寝る前にはハグをして…こんな「子どもらしい暮らし」を子どもたちにはおくらせてもらいたいと思います。

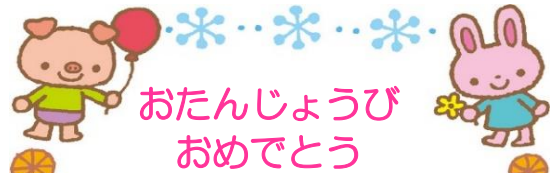
新しい年度を迎えます。子どもたちが希望を胸に次のステップへ進むことを願っています。

園長 杉浦伸枝



3月の予定

- 3日(木) ひなまつり会
- 11日(金) 岡村 Dr.診察
- 17日(木) 防災訓練
- 18日(金) 誕生会
- 22日(火) 茶話会
- 28日(月) 卒園終業式
- 29日(火) ~ 4月3日(日) 春休み
- 4月4日(月) 入園式



おたんじょうび おめでとう

- 14日 うみちゃん 2さい
- 18日 あさちゃん 2さい



7日(月) ~ 11日(金)
面接週間になります。
通常のリハビリはありません。



- *11月29日
なゆなちゃんに妹が産まれました。
名前は唯橙奈(いとな)ちゃんです。
- *2月3日
ひとかちゃんに弟が産まれました。
名前は堆心(たいしん)くんです。



卒園する皆さんへ

卒園後も相談に応じますので
いつでも連絡してください



外来保育

- 10:30 ~ 11:30
- 1日(火) 9日(水)
- 15日(火) 23日(水)



感触あそびのおはなし



園では、数珠玉や小麦粉、片栗粉、パン粉、ボディーペイントなどの感触遊びを保育の中で経験していると思います。お子さんは感触遊びが好きですか？好きで楽しく取り組む子もいれば、苦手な子もいます。最初は苦手だったけど徐々に楽しめるようになった子、手で直接触らず汚れなければ楽しめる子、この感触は苦手だけど別の感触は大丈夫、など様々ですよね。



なぜ、感触遊びをするのか・・・

それは、様々な遊びの基礎となるとともに、そこから日常生活にかかせない感覚を促しているからです。

感触遊びをする時には手のひらを使いますね。皮膚は感覚を受ける器官ですが、手のひらは特に繊細に感覚を受けることができます。

例えば…カバンの中を見ずに手探りで物を探することができるのは、その物の素材や形を手のひらで受け取って認識できるからです。柔らかい豆腐を形くずさず箸ではさめるのは、箸を介して豆腐の柔らかさを受け取っているからです。

感触遊びを通して硬い、柔らかい、熱い、冷たい、ベタベタしている、サラサラしている、握ると固まる、など様々な刺激を経験することで感覚を受け取る力を促しているのです。また、物に合わせた力のコントロールや、指5本それぞれの認識を促して指先の細かな操作へもつながっていきます。

ただ、お子さんによって受け止め方や受け皿の大きさは違うので、楽しいという快に感じるお子さんもいれば、嫌だという不快に感じるお子さんがいます。



大人でも魚や虫に触れるのが平気な人と苦手な人がいるように…。苦手なお子さんは無理をせず、楽しめる方法（まずは見るだけ、手が汚れないように袋を介して、道具を使って、など）で取り組んでいくのがいいです。

そして、もうひとつ大事なのが、（感触遊びに限らずですが）大人が遊びのお手本を示す事です。大人が楽しそうに遊ぶとお子さんも興味を示してくれます。そうすると、「やってみようかな」という気持ちになるかもしれません。今年度も残り1ヵ月ですが、ご家庭ではなかなかできない感触遊びをお子さんと一緒になって楽しんでください。



